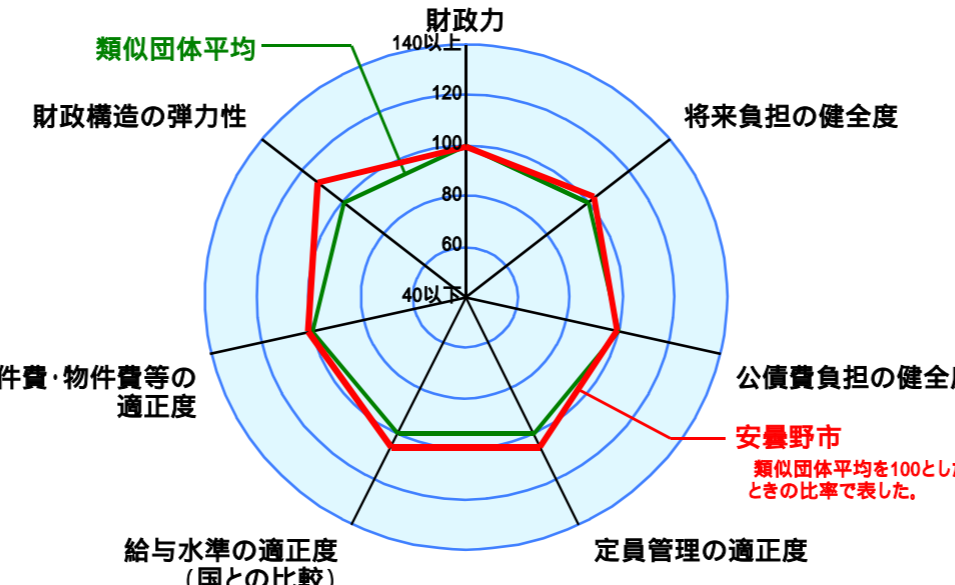
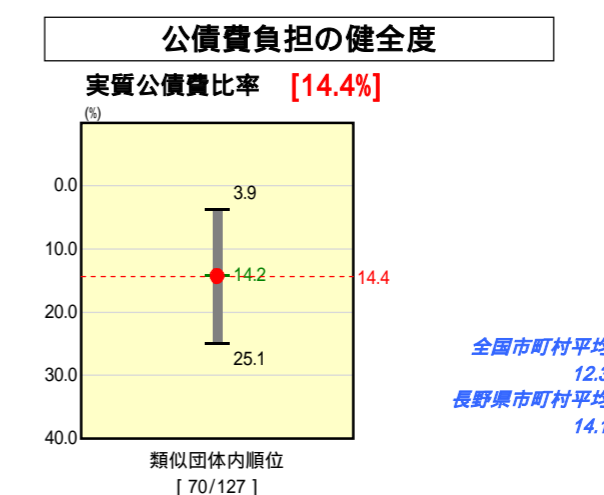
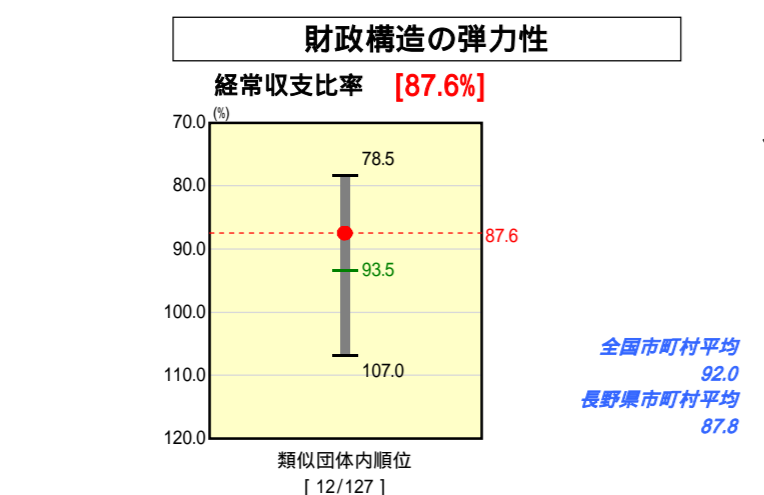
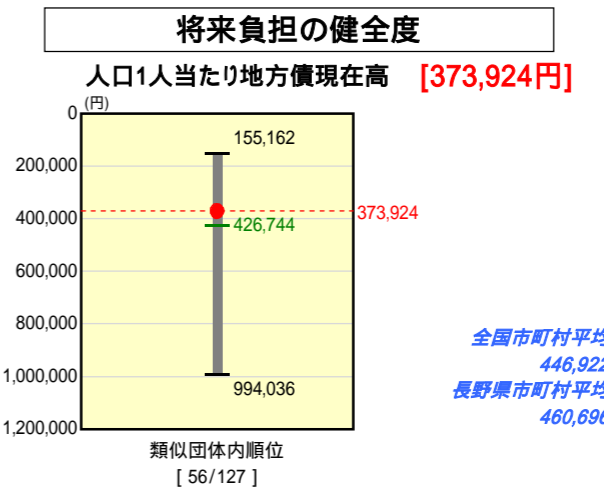
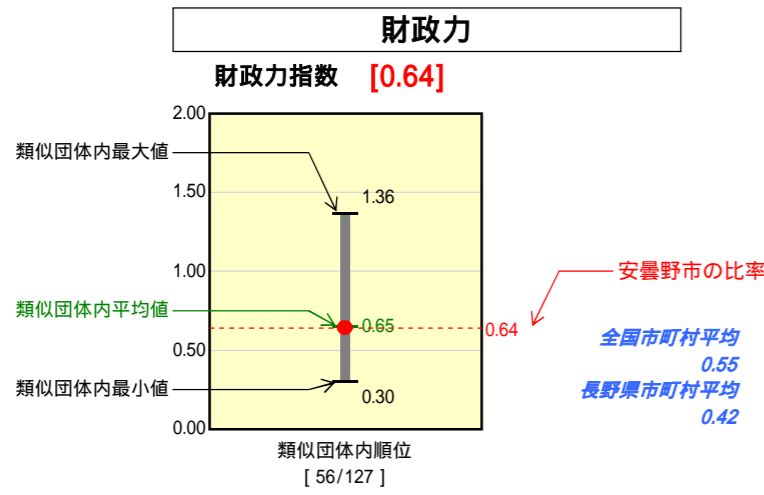


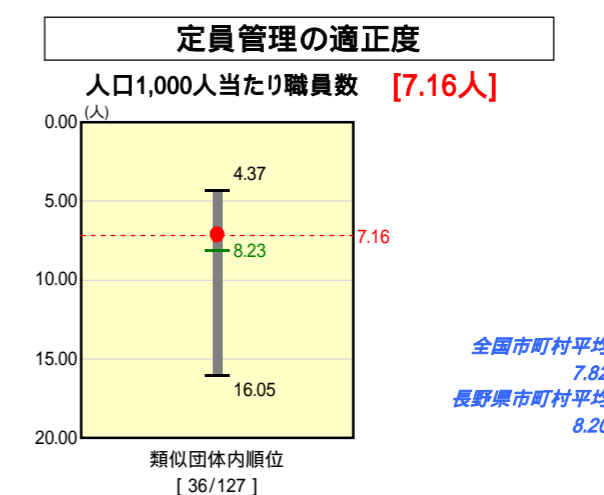
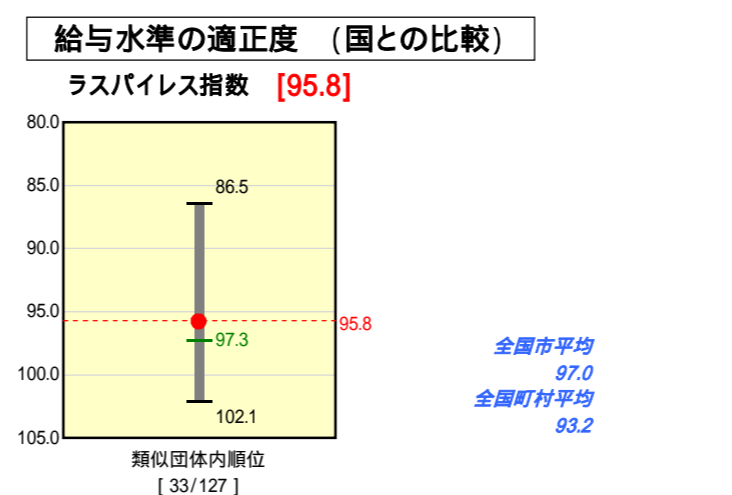
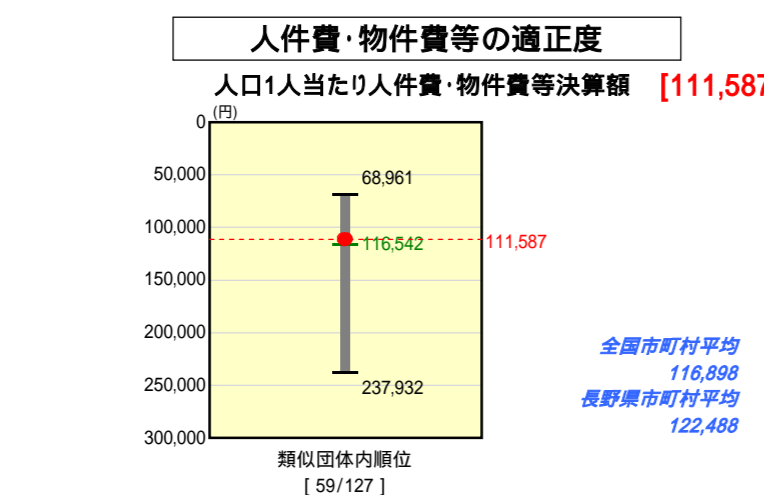
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 長野県 安曇野市

人口	97,642	人(H20.3.31現在)
面積	331.82	km <sup>2</sup>
歳入総額	35,464,426	千円
歳出総額	34,722,618	千円
実質収支	118,818	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



### 分析欄

**財政力指数**  
指数は0.64、前年より0.03ポイント上昇しました。三位一体の改革による税源移譲や、合併により人件費等の需要額削減結果が反映されたことによります。指数は過去3ヵ年の平均で、平成19年度単年としては0.66でした。税収確保や収納率向上のため、コンビニ収納等導入を更に進めています。

**経常収支比率**  
比率は87.6%、前年より3.1ポイント増加しました。内訳は物件費0.5ポイント、公債費0.9ポイント、下水道事業等への繰出金1.4ポイント増が主な要因です。しかし、類似団体比較では5.9ポイント低い値でした。比率が高くなるほど財源の用途が固定していることになるので、事業の見直しや経費の削減を進め、財政構造の柔軟性維持に努めます。

**人口1人当たり人件費・物件費**  
金額は111,587円、前年より5,331円増加しました。合併効果による人件費は減少しましたが、システム統合経費の増額により増加しました。今後は行政評価等による事務事業の見直しや指定管理者制度の導入による効率的な施設運営、スリム化を進め、経費の抑制、削減に努めます。

**人口1人当たり地方債現在高**  
現在高は373,924円、前年より1,485円増加しました。主に保育園、児童館、給食センター等の整備の財源として地方債を

発行したことによります。今後も市債発行額の大きな事業が予定されていますので、地方債現在高の推移には留意していきます。

**実質公債費比率**  
比率は14.4%、前年より0.6ポイントの増となりました。18年度から導入されたこの比率は普通会計の公債費負担額と合わせ、下水道会計等の公債費償還財源に充てられた繰出金も算定されますので、市全体としての発行額抑制や平準化を図り、実質公債費比率の上昇を抑制していきます。

**ラスパイルズ指数**  
指数は95.8、前年と同様でした。類似団体の平均を下回っていますが、給与や定員管理の適正化を進め、職員の適正配置による人件費総額の縮減に努め、業績評価制度の導入によって職員個々の能力も高めていく方針です。

**人口1,000人当たり職員数**  
職員数は7.16人、前年より0.03人減となりました。行政経営改革プラン実施計画の確実な実行により、簡素で効率的な行政運営の実現に向けた取り組みを進め、市民サービスの更なる向上と社会経済状況等の変化に柔軟に対応できる安曇野市を目指します。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。